

1 研究主題

主題	「組織力を高め、人を育てる学校経営」
視点	(1) 意図的に全体を導くためのリーダーシップ (2) 計画的に組織・システムを運用するためのマネジメント

2 研究推進の概要

- (1) 第17次研究推進計画の1年次として研究に取り組んだ。第16次研究の成果を生かして充実した研究を進めることができた。
- (2) 年度当初に「研究の手引き」を作成し、研究のねらいや推進方法を具体的に示し、共通理解を図った上で計画的に研究を推進した。
- (3) 町村校長会ごとに研究主題に沿って研究に取り組み、管内4つの「ブロック研究会」でその成果や課題を発表・協議し、研修を深めた。
- (4) 「後志小中学校長会研究大会」を開催（会同：半日日程）し、視点(1)・視点(2)についてそれぞれ1町村が提言を行い、全体・グループで協議を行った。
- (5) 17次研究（1年次）の活動内容や研究の成果と課題を整理し、研究のまとめとして「研究紀要」を作成した。

3 研究の成果と課題

【成果】

ブロック研究会及び研究大会は、「意図的に全体を導くためのリーダーシップ」「計画的に組織・システムを運用するためのマネジメント」の2点を踏まえた提言及び研究協議により、様々な教育課題を解決していくために必要な学校経営のあり方やそのための校長の資質能力について、後志管内の校長同士が学び合う貴重な場となった。

学校の現状を把握する情報収集と分析、それを踏まえた方針・ビジョン・ゴールの明示、職員の心理的安全性の保証による組織活性化の取組等、求められる校長のリーダーシップのあり方について、また、既存の組織やシステムを見直したり、目標達成のプロセスを明確にして検証改善の好循環を生み出したり、機能的・効果的な人的配置や組織体制を整備したりする等のマネジメントのあり方について、研究の目的である「学校の教育力の向上(教育の質を高める)」につながる実効性のある共同研究となった。

【今後に向けて】

2年次目も同様に、管内校長の学びの場であるブロック研究会及び研究大会の充実を図り、学校の教育力向上を目指す学校経営のあり方を深めていく。校長に求められる役割や期待される行動等の資質能力について、リーダーシップとマネジメントの視点を通して明確に示し共有していくことで、後志管内の学校の教育力の向上につなげていく。

1 研究主題

主題 「組織力を高め、人を育てる学校経営」

視点 (1) 意図的に全体を導くためのリーダーシップ

(2) 計画的に組織・システムを運用するためのマネジメント

2 研究主題設定の趣旨

研究主題においては、「組織力を高めること」と「人を育てること」は学校経営そのものであり、どのような学校課題の解決においても、「課題解決のためにどのように組織を動かすか」「どのように人を育てるか」という視点で学校経営を行うことが重要であることが、第16次研究において確認された。そこで、第17次研究についても、第16次研究を継承しながらさらに深化、充実させてきた。

2年次は、この成果と課題を確認し、町村研究・ブロック研究の推進を図るとともに、研究プロセスを定着させたい。

3 研究内容

- (1) 第17次研究推進計画《2年次》の研究推進（※3年次計画）
- (2) 組織的な研究推進のための研究組織と研究体制の確立
- (3) 町村・ブロック・管内全体の系統性のある研究の推進
- (4) 道小・道中の研究内容との関連性を重視した研究の推進
- (5) 全国・全道研究大会の提言のためのプロジェクトチームの設置

4 研究推進計画

- (1) 「研究の手引き」「研究紀要」の発行
- (2) 町村校長会単位の研究推進
- (3) ブロック研究会の開催〔9月〕
- (4) 管内研究大会の開催〔令和6年10月23日（水）：倶知安町〕
- (5) 全道・全国大会への積極的参加
- (6) プロジェクト活動の推進

5 研究組織

- (1) 研究組織
 - ① 管内校長会研修部
 - ② ブロック研究推進委員会
 - ③ 町村校長会
- (2) ブロック
 - 南ブロック（島牧村、寿都町、黒松内町、蘭越町、ニセコ町）
 - 山麓ブロック（真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町、倶知安町）
 - 岩宇ブロック（岩内町、泊村、共和町、神恵内村）
 - 北ブロック（積丹町、仁木町、赤井川村、古平町、余市町）